

授業科目	*疾病学各論 I					実務家教員担当科目	○				
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	浅野 嘉延										
授業概要	<p>実務家教員として、病院に長く勤務している内科医、外科医、麻酔科医、産婦人科医が、自らの臨床経験をもとに現在の医療現場で必要とされる疾病学の知識について解説します。疾病学各論は看護師の日常業務に直結する内容で、全ての看護科目の基盤となる非常に重要な授業です。疾病に関する十分な知識がなければ、適切な看護を行うことはできません。各領域の主な症候、検査手技、治療法、主要疾患の概念、疫学、症状、検査所見、治療、予後などについて解説するだけでなく、医療人としての心構えや命の大切さについて折に触れてお話しします。</p> <p>疾病学各論 I で解説するのは、内科領域（呼吸器疾患、循環器疾患、消化管疾患、肝胆膵疾患、代謝疾患、内分泌疾患、神経疾患）、外科領域（心臓外科、呼吸器外科、消化管外科、肝胆膵外科、乳腺外科、術後管理、麻酔科）、婦人科領域（婦人科疾患）です。</p>										
授業形態	講義	授業方法	Google classroom で質問を受け付けます。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>主要な疾患に関する基本的な知識を身に付け、人に説明することができる。疾患に関する知識をもとに、看護をする際の注意点を説明することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各領域の主な症候、検査手技、治療法について説明できる。 2. 主要疾患の病態を説明できる。 3. 主要疾患の疫学、症状、検査所見、治療を説明できる。 4. 看護のポイントを説明できる。 										
理想的レベル	<p>疾病学の十分な知識をもとに、様々な疾患が関係しあう患者の病態を総合的に把握することができる。適切な診断、治療、看護をシミュレーションすることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）					備考					
試験	90%					期末試験は看護師国家試験の形式で行います。					
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	10%					授業貢献度					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11105J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	

授業範囲の予習と復習を行ってください。		1
授業計画		
第1回	<p>テーマ：イントロダクション（浅野嘉延）</p> <p>授業の進め方などを概説します。</p> <p>テーマ：呼吸器疾患(1)（浅野嘉延）</p> <p>呼吸器領域の主な症候、検査手技、酸素療法、肺炎について解説する。</p>	
第2回	<p>テーマ：呼吸器疾患(2)（浅野嘉延）</p> <p>結核、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患について解説する。</p>	
第3回	<p>テーマ：呼吸器疾患(3)（浅野嘉延）</p> <p>間質性肺炎、肺癌について解説する。</p>	
第4回	<p>テーマ：呼吸器疾患(4)（浅野嘉延）</p> <p>肺血栓塞栓症、過換気症候群、気胸、呼吸不全について解説する。</p> <p>*呼吸器疾患の復習をする。</p>	
第5回	<p>テーマ：循環器疾患(1)（浅野嘉延）</p> <p>循環器領域の主な症候、心電図、心不全について解説する。</p>	
第6回	<p>テーマ：循環器疾患(2)（浅野嘉延）</p> <p>不整脈疾患について解説する。</p>	
第7回	<p>テーマ：循環器疾患(3)（浅野嘉延）</p> <p>虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）について解説する。</p>	
第8回	<p>テーマ：循環器疾患(4)（浅野嘉延）</p> <p>心膜疾患、心臓弁膜症、高血圧症について解説する。</p> <p>テーマ：救急医療（浅野嘉延）</p> <p>救急蘇生法、災害医療について解説する。</p> <p>*循環器器疾患の復習をする。</p>	
第9回	<p>テーマ：消化管疾患(1)（浅野嘉延）</p> <p>消化管領域の主な症候、内視鏡検査、食道疾患（胃食道逆流症、食道癌など）について解説する。</p>	
第10回	<p>テーマ：消化管疾患(2)（浅野嘉延）</p> <p>胃十二指腸疾患（消化性潰瘍、胃癌など）、ヘリコバクターピロリ菌感染について解説する。</p>	
第11回	<p>テーマ：消化管疾患(3)（浅野嘉延）</p> <p>大腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸癌など）について解説する。</p> <p>*消化管疾患の復習をする。</p>	
第12回	<p>テーマ：肝胆膵疾患(1)（浅野嘉延）</p> <p>肝胆膵領域の主な症候、肝臓疾患（肝炎、肝硬変）について解説する。</p>	
第13回	<p>テーマ：肝胆膵疾患(2)（浅野嘉延）</p> <p>肝臓疾患（肝細胞癌）、胆嚢疾患（胆石症）、膵臓疾患（膵炎、膵癌）について解説する。</p> <p>*肝胆膵疾患の復習をする。</p>	
第14回	<p>テーマ：代謝疾患(1)（浅野嘉延）</p> <p>糖尿病（分類、症状、合併症、治療）について解説する。</p>	
第15回	<p>テーマ：代謝疾患(2)（浅野嘉延）</p> <p>低血糖症、脂質異常症、痛風、酸塩基平衡について解説する。</p> <p>*代謝疾患の復習をする。</p>	

第 16 回	テーマ：内分泌疾患(1) (浅野嘉延) 下垂体疾患、甲状腺疾患について解説する。
第 17 回	テーマ：内分泌疾患(2) (浅野嘉延) 副甲状腺疾患、副腎疾患について解説する。 *内分泌疾患の復習をする。
第 18 回	テーマ：神経疾患(1) (浅野嘉延) 神経領域の主な症候、脳血管疾患(脳梗塞、脳出血)について解説する。
第 19 回	テーマ：神経疾患(2) (浅野嘉延) 神経筋疾患(パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症)について解説する。
第 20 回	テーマ：神経疾患(3) (浅野嘉延) 脱髄性疾患(多発性硬化症)、神経筋接合部疾患(重症筋無力症)、認知症疾患(アルツハイマー病)について解説する。 *神経疾患の復習をする。
第 21 回	テーマ：麻酔科 (外部講師) 麻酔の基礎について解説する。
第 22 回	テーマ：外科疾患(1) (外部講師) 術後管理について解説する。
第 23 回	テーマ：外科疾患(2) (外部講師) 胸部(肺、食道)の外科について解説する。
第 24 回	テーマ：外科疾患(3) (外部講師) 消化管(胃、大腸)、急性腹症の外科について解説する。
第 25 回	テーマ：外科疾患(4) (外部講師) 肝胆膵の外科について解説する。
第 26 回	テーマ：外科疾患(5) (外部講師) 心臓の外科について解説する。
第 27 回	テーマ：外科疾患(6) (外部講師) 内分泌(甲状腺、乳腺)の外科について解説する。
第 28 回	テーマ：周産期疾患(1) (外部講師) 周産期疾患(不妊症など)について解説する。
第 29 回	テーマ：周産期疾患(2) (外部講師) 婦人科疾患(性感染症、更年期障害など)について解説する。
第 30 回	テーマ：周産期疾患(3) (外部講師) 婦人科疾患(卵巣癌、子宮癌、など)について解説する。
テキスト	教科書：看護のための臨床病態学(改訂5版)、浅野嘉延・編、南山堂 教科書：女性生殖器(第15版)、末岡浩他・著、医学書院 *婦人科疾患の授業で使用 ポイントをまとめたプリントを配布します。 外科などのプリント配布は担当教員(外部講師)から指示があります。
参考図書・教材/データ	参考図書：看護のための臨床検査、浅野嘉延・著、南山堂 臨床外科看護総論、医学書院 臨床外科看護各論、医学書院 その他、講義のなかで紹介します。

ース・ 雑誌等 の紹介	
課題に 対する フィー ドバッ クの方 法	成績発表後にクラスの評価分布を提示します。
学生へ のメッ セー ジ・コ メント	<p>疾病に関する知識は全ての看護科目の基盤となり、卒業後は看護師の日常業務に不可欠です。看護師国家試験でも大きなウエイトを占めています。疾病学の系統講義は「疾病学各論Ⅰ」「疾病学各論Ⅱ」で最後となります。1年次の「形態機能学」「疾病学総論」の知識を整理してから授業に臨んでください。2年次の「薬理学」「看護のための臨床検査」とも関連します。疾病を多面的に捉えて理解するように心掛けてください。</p> <p>講義は教科書と配布資料に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後はしっかりと復習することが大切です。質問があったら Google classroom に投稿してください。日頃からジャーナルやインターネットなどで疾病や健康についての関心を高め、分らないことは教員に質問したり図書館で調べるなど積極的な姿勢を期待します。</p> <p>この授業では医療現場で勤務している臨床医に外部講師を依頼しています。仕事の都合などで、授業の順序が入れ替わることがあります。その場合は前もって通達します。</p>